



公益財団法人

福島県体育協会

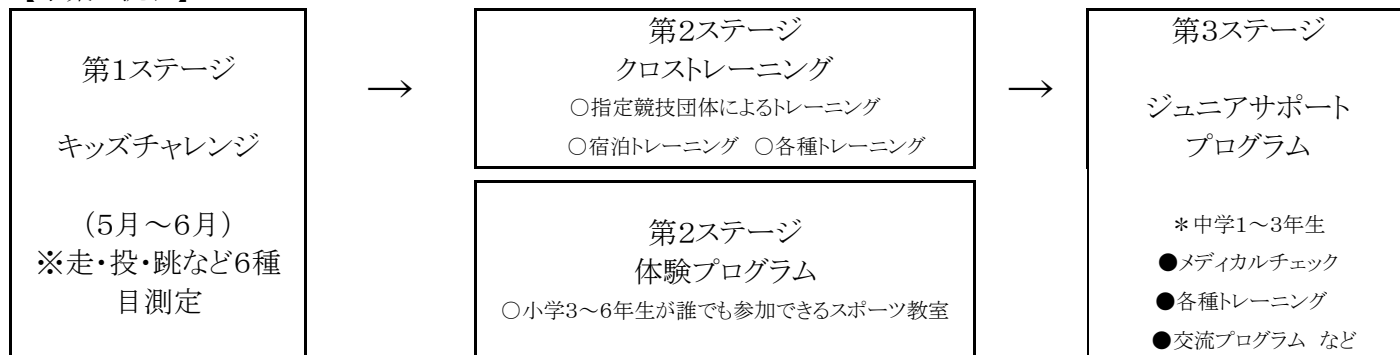
R2 福体協ニュース

令和3年2月2日 (No.20-10)

今年度のふくしまスポーツキッズ発掘事業について紹介します！

本事業は、スポーツ人材の発掘・確保・育成を目的として「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみよう！」という小・中学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。

【事業の流れ】



第1ステージの「キッズチャレンジ」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、例年5月～6月にかけて県内の小学3年生～6年生を対象に測定会を実施し、そこで選考された60名のキッズが第2ステージの「クロストレーニング」に進みます。

キッズチャレンジの内容(6種目実施)

- ・25m走
- ・全身反応
- ・反復横跳
- ・四方向ステップ
- ・立五段跳
- ・膝立ちボール投げ



〈※令和元年度の第1ステージ活動の様子 全身反応：左 立五段跳：右〉

第2ステージの「クロストレーニング」についても中止となりましたが、例年9月の開始式から活動が始まり、12月の修了式までに8回程度の活動を行っています。各種トレーニングの内容は、普段学校の授業ではなかなか触れることのできない競技やトレーニングが多く、参加したキッズは目を輝かせながら活動しています。また、競技団体主催のスポーツ体験教室「体験プログラム」もすべて中止となりましたが、こちらは県内の小学3～6年生の希望者なら誰でも参加することができ、毎年多くのキッズが様々な競技種目に参加しています。



〈※令和元年度の第2ステージ活動の様子〉

一方、第3ステージの「ジュニアサポートプログラム」では一部の活動を中止しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら2回のプログラムを実施しました。令和元年度までに選考されたキッズで希望した中学1～3年生までのジュニア27名を対象に、基礎運動能力の向上やメンタル面の強化を目的とした「体幹トレーニング」、「コーディネーショントレーニング」、「スポーツメンタルトレーニング」等を実施しました。さらに、今年度は保護者プログラムとして東海大学の穴戸渉氏による保護者向けスポーツメンタル講義も実施しました。参加されたキッズや保護者の皆さんは、楽しみながら一生懸命に取り組んでおりました。ぜひ本事業で経験したことを継続して今後に活かしてほしいと思います。



〈※令和2年度の第3ステージ活動の様子〉